



コロナ禍における新たな国際交流事業を求めて ～オンラインを活用した交流～

名古屋市観光文化交流局国際交流課 早川 浩司

現状と課題

名古屋市には以下の6つの姉妹友好都市があります。

- ・ロサンゼルス市 / アメリカ (1959.4.1 締結)
- ・メキシコ市 / メキシコ (1978.2.16 締結)
- ・南京市 / 中国 (1978.12.21 締結)
- ・シドニー市 / オーストラリア (1980.9.16 締結)
- ・トリノ市 / イタリア (2005.5.27 締結)
- ・ランス市 / フランス (2017.10.20 締結)

2020年度は、トリノ市と姉妹都市提携15周年、シドニー市と姉妹都市提携40周年の年であったため、本来は渡航して交流を深める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い渡航が中止となりました。また、市内におけるPR事業についても、感染拡大防止として「3密」を避けるため、その多くが中止となりました。

しかし、こうしたコロナ禍においてこそ、姉妹友好都市同士心の絆に思いを寄せて、共にこの難局を乗り越えることができるよう、姉妹友好都市との交流事業が求められるのではないかと考えました。

名古屋・トリノ 姉妹都市提携15周年記念事業

トリノ市と姉妹都市を締結してちょうど15年となる記念日の2020年5月27日に、在大阪イタリア総領事館と名古屋日伊協会と共同で、15周年記念動画を Mildom というライブ配信プラットフォーム上で配信し



オンライン対談中の名古屋市長

ました。配信動画の中では、トリノ市のPR動画を始め、在大阪イタリア総領事と名古屋市長の対談のほか、本企画を通して

イタリア・トリノ市へ届けるコロナお見舞金や応援メッセージの募集を行いました。

○配信内容

トリノ市およびイタリア文化紹介VTR
市長・総領事からのメッセージ
市内イタリア料理店によるトリノ料理の紹介
市民からのメッセージ紹介 など

○非接触型での双方向交流

コロナ禍で直接対面ができない中でもオンラインを活用することで双方向の交流を行うことができました。

○若年層へのアプローチ

ライブ配信のため、ウェブ上にコメントやメッセージを送ることができ、それに対して市長・総領事の反応があることによって、一体感を持たせることができたほか、ウェブ上で「投げ銭」という形でお見舞金の募金も行い、行政に比較関心が薄いと言われていた若年層に対してもアプローチすることができたと考えています。その他、ウェブ上で参加できるため、場所に捉われないメリットなど、オンライン事業の新たな可能性を感じました。

○配信動画

当日の配信動画は、現在も名古屋日伊協会のホームページ（以下のリンク参照）から見ることができます。



オンライン対談の様子

名古屋・シドニー 姉妹都市提携 40 周年記念事業

シドニー市についても、締結月である9月に記念事業「オンラインで姉妹都市シドニーを体感しよう！」を実施しました。共催団体である名古屋姉妹友好都市協会の会員限定の特別会場、同じく共催団体である社会福祉法人名古屋市身体障害者福祉連合会による障害を持つ方の参加会場を準備しましたが、それに加えて、多くの市民に姉妹都市を知ってもらえるよう Zoom を活用し、誰でも視聴することが可能なオンライン事業としました。

実施に当たっては、株式会社エイチ・アイ・エスに協力していただきながら、社会福祉法人名古屋市身体障害者福祉連合会との共催で行い、海外との往来にハードルがある方にも楽しんでいただける企画となるよう努めました。



名古屋会場（福祉施設ホール）における参加者の様子

○配信内容

- シドニー市の街並み・文化・歴史紹介
- 名古屋市とのこれまでの交流紹介
- シドニー市のバリアフリー情報紹介
- シドニー駐在員による生活スタイルの紹介

○参加者の双方向的な交流

名古屋会場（福祉施設ホール）とシドニー市をリアルタイムにつなぐほか、Zoom を通してウェブからも参加可能とすることで、多くの方に生の姉妹都市シドニーを体感してもらうことができました。

○参加者の声

特に反響が大きかったのがバリアフリー情報についてです。ほとんどの人が海外旅行へ行く際に気にしたことがなく、参加者の多くが実際の映像を見てシドニー市と日本の違いを学びながら楽しまれていました。また、シ

ドニー駐在員のライブ中継では、街中の様子やスーパーマーケット内で物価の違いなどを紹介し、コロナ禍におけるマスク着用への意識の違いや、生活に身近な食材の日本との価格比較により、物価の差を興味深く実感されていました。

ライブ中継のため、実際に参加者の方が問いかけたことに対して目の前で返答があることで、参加者の方々により身近に体感していただけたと感じました。



シドニー市のさまざまな場所からの中継の様子

オンライン事業の振り返り・課題

○オンライン事業を通して感じた課題と可能性

・課題

通信環境の不安

参加する側の操作性の課題（接続方法や画面操作など）
参加者一人ひとりの表情を見ることが難しい など

・可能性

場所を問わないため、多くの方が参加できる
離れた相手とも瞬時に接続できる など

終わりに

コロナ禍においてオンラインを駆使した事業に取り組むことで、新たな可能性を感じ、今後もっと新しいことに挑戦していかなければならないと感じました。

しかし、姉妹友好都市との交流においては人と人で繋がってきた歴史があり、やはり対面交流は必要であると実感しています。

そのため、今後はオンラインを活用しながら、姉妹友好都市交流の機運を高め、その先にある対面交流をより一層盛り上げていけるよう取り組んでいきます。



名古屋姉妹友好都市協会が作成した周年記念のロゴマーク